

1	指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2	指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日（1年間）
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		・開館時間中(10:00～18:00)は、自由来館としている。	—	
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値				
								平均値比(上記(1)適用) ※今回は指定管理1年目の評価のため、上記(1)を適用する 106%≒利用人数(延べ人数 14,165人)÷13,312人		令和6年度は坂上児童館の最後の年でもあり、企画隊による感謝祭や最後の児童館まつりでは予想を遥かに上回る来館者があった。中学生ボランティアも行事に多数参加してくれ、小学生の頃から来館していた中学生や高校生も来館してくれた。母親の職場復帰が増えている現状は変わらないが、乳幼児クラブやプレベビーズサークルは参加者が増加した。 【令和6年度】来観者数 14,165人 乳幼児:2,125人、小学生:7,031人、中高生:896人、大人:4,113人 【令和5年度】来館者数 13,312人 乳幼児:2,336人、小学生:6,689人、中高生:640人、大人:3,647人 (参考)コロナ前である令和元年度との比較 ・R6:14165÷R1:15848≒89%
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計48回開催、延べ700名参加) ・児童を対象にした事業(計61回開催、延べ797名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計1回開催、延べ288名参加) ・中高生事業(計7回開催、延べ78名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計22回開催、延べ625名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 13点	・仕様書の事業を全て目標回数以上行い、適正に実施した。 ・保健センターや保育園、地域と連携を図り、事業を行っている。 ・児童を対象とした事業では、児童の意見を取り入れながら事業を実施した。 ・一輪車クラブはまつりや他館との交流会を含め発表の機会が4回あり、子ども達のモチベーションに繋がった。 ・中高生ボランティア事業は、それぞれの行事に多く集まり、力を発揮してくれた。 ・養正地域福祉協議会やNPO法人「明るい未来のある地域づくりを進める会」、公民館等と共催して、要望に応えながら様々な事業を行った。	13点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計42回開催、延べ457名参加) ・児童を対象にした事業(計73回開催、延べ630名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計46回開催、延べ793名参加) ・中高生事業(計10回開催、延べ34名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計10回開催、延べ129名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 14点	・地域の特性を活かした事業を、地域のご協力を得ながら実施している。 ・デイキャンプや鏡もち作りでは、地域の行事指導員の存在は欠かせないものであり、地域との長い繋がりの賜物である。 ・「子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進」におけるプレベビーズサークルは母親達の交流の場として、次年度のベビーズクラブに繋がっている。長く保育士をされてきた主任児童委員の方が毎回来てくださり、様々な遊びを提供したり、子育ての相談にものってください。母親の思いに沿うように企画しており、参加者が増加している。 ・大きな事業には主任児童委員2名の方が積極的に関わって参加した。子どもの姿や行動等を大変よく見て、児童館のあり方や子どものニーズ等いろいろ考えて行動した。職員とも情報の共有をし、児童館にとっても子ども達にとっても必要な心強い存在となった。	14点		

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 備品の清掃:毎日 ガラス・照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2〜3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場、児童館周辺、公園等も、定期的に清掃している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			電気工作物・運動器具・保守点検:委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備:委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			・輪転機保守修理(35,750円) ・和室ステニ桜戸取手取付工事(4,400円) ※10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕・修理を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応されている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			・「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定。プール遊びで残った水は内水にして暑さ対策にする。夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットやじゅうたんを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 コピー等は館内のものはできる限り裏紙を使う。 乳幼児クラブや館内の工作事業では、期限切れのチラシや牛乳パック、豆腐の入れ物、トイレトペーパーの芯、トレイ、ペットボトル等、様々な物を活用し、その便利さに気付かされる事もあった。 関係機関への連絡はメールを利用。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			玄関に手すりを設置しており、トイレは洋式化している。 廊下に障害物を置かない様に努めている。 廊下のガラス戸に飛散防止フィルムを貼る。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団として『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして、保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支			施設の特性から評価対象外の項目	収入 10,914.350円 ÷ 支出10,585.166円 ÷ 103% <u>収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。(令和3年度から)</u>			

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組(35点)	(1)市民・利用者の声の反映(20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・乳幼児クラブ終了時や事業開催後などに、感想や意見を聞く場を設け、参考にしつつ次に繋げて活かすようにしている。ちびっこクラブでは保育園訪問を行っているが、他のクラブでも希望する方は一緒に出かけ、保育園を知る良い機会となっている。コロナ前に行っていたクラブ最終回のクッキングは要望が多く、令和5年度後期から実施し、令和6年度も前期後期行ったが、子ども達の食欲は旺盛でとても好評だった。 ・乳幼児クラブでの体操教室が好評で、クラブ以外でも開催の要望が多く、令和5年度より講師に来ていただき年2回開催した。他地域からの参加も含め多くの参加者があった。 ・まちづくり市民会議と共催で、乳幼児・園児・小学生のクリスマス会を開催している。坂上公民館館長のサンタクロースをはじめ、毎月来ていただくおはなしの会、中高生ボランティアにも協力してもらっている。 ・中学校にボランティアを募集させていただくと毎回多くの中学生が来てくれる。多数で断らざるを得ない場合もあり、中学生の気持ちを無駄にしないよう、いろいろな行事を企画している。 ・児童館にあるマンカラは子ども達に大人気で、NPO法人「明るい未来のある地域づくりを進める会」にご協力いただき毎年マンカラ大会を開催している。幼児から中学生まで毎回優勝を目指して真剣勝負が繰り広げられた。	期待以上 13点	利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。	13点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	坂上児童館の建物は坂上公民館の機能も備えており、地域の方の拠点にもなっている。地域の会議等も行われる為、地域にとって児童館は関わりの深い場所であり、日々の運営や行事等についても協力的である。また第2区には行事指導員の方々がいてくださり、地域の行事だけでなく児童館事業にも協力いただいている。また令和3年7月より養正地域福祉協議会の事務局が児童館内に設置され、相互に協力し合うだけでなく、令和4年度から共催事業「伝承あそび」を実施し好評である。令和5年度からは年2回開催してきた。ポッチャは老人サロンでも人気で、大人も子どもも入り混じって大いに盛り上がった。令和6年度は伝承あそびやポッチャに加え手話体験等の共催事業も行った。隣接する坂上公園では子ども達とごみ拾い等を行っている。公園内での子どものケガ等は勿論のこと、樹木の枝折れ等の危険、トイレ、遊具、水道の不具合、忘れ物等は児童館に連絡がくるので、その都度できる範囲内で対処し、必要があれば関係機関に繋いでいる。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤にも対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」・5月11日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」・9月14日「地域子育てフォーラム」(オンライン)・年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催(オンライン)・法人内児童館職員研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・11/25東濃ブロック研修会 児童の発達理論「子どもの発達と心を支援するためのポイント」 中京学院大学 幼児教育学科准教授 江畑慎吾先生・ゲーム・運動あそび「モルックをたのしもう」 中津川市スポーツ推進委員会 会長 長尾一政先生 ・1/20東濃ブロック研修会「表現活動(造形)」『すぐに使って楽しめる教材を作ってみよう!』中京学院大学短期大学 保育科准教授 栗林洋美先生【主催:多治見市教育委員会】・8/2多治見市子どもの権利セミナー「笑って考えよう!子どもの権利」社会人落語家 切磋亭琢磨先生【主催:多治見市保健センター】・11/15タバコ対策講演会【主催】・軽スポーツセミナー みんなで遊ポッチャ 講師:多治見市スポーツ推進委員	期待以上 14点	・坂上児童館では最後となる締めくくりの年度としての自覚を持ち、児童館イベント、地域との交流や連携、お別れイベント等を見事にやり切り、坂上児童館として有終の美を飾った。 ・次年度からは、養正交流センター内の養正児童館へ児童館機能は移設となるため、養正交流センターの指定管理者と、年度途中から深く連携し、物品の移動はもちろんのこと、今まで坂上児童館を利用していた、こども・保護者が違和感なく次年度以降も快適に利用できるよう、打合せ及び引き継ぎを入念に行った。 ・次年度からは第2区の集会場となる施設でもあるため、地元住民と日頃からの打合せ及び引き継ぎも入念に行った。 ・これまでの歴史もふまえながら、地元に愛される坂上児童館及び坂上公民館を実現できた。	14点			
	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点			
5		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	市からの指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点			
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下				89点		
									全体的な評価 ・極めて良好な管理運営が行われた。 ・今年度で児童館としては閉館するが、地域との連携を深めたイベントが大盛況のうちに幕を閉じ、長年にわたり子どもたちの笑顔を育んできた児童館の最後の年を、これ以上ない形で締めくくることができた。 ・児童館の閉館という、多岐にわたる業務が発生する中で、子どもたちの安全で楽しい居場所を守るための通常運営を滞りなく続けられ、利用者が戸惑うことなく養正児童館へスムーズに移行できるよう引き継ぎが行われた。		極めて良好